

水の夢幻 その新しき表現展

1995年6月9日[金]——7月2日[日]

【開館時間】 午前10時——午後6時30分(入館は6時まで)

【休館日】 6月15日(木)、22日(木)、29日(木)

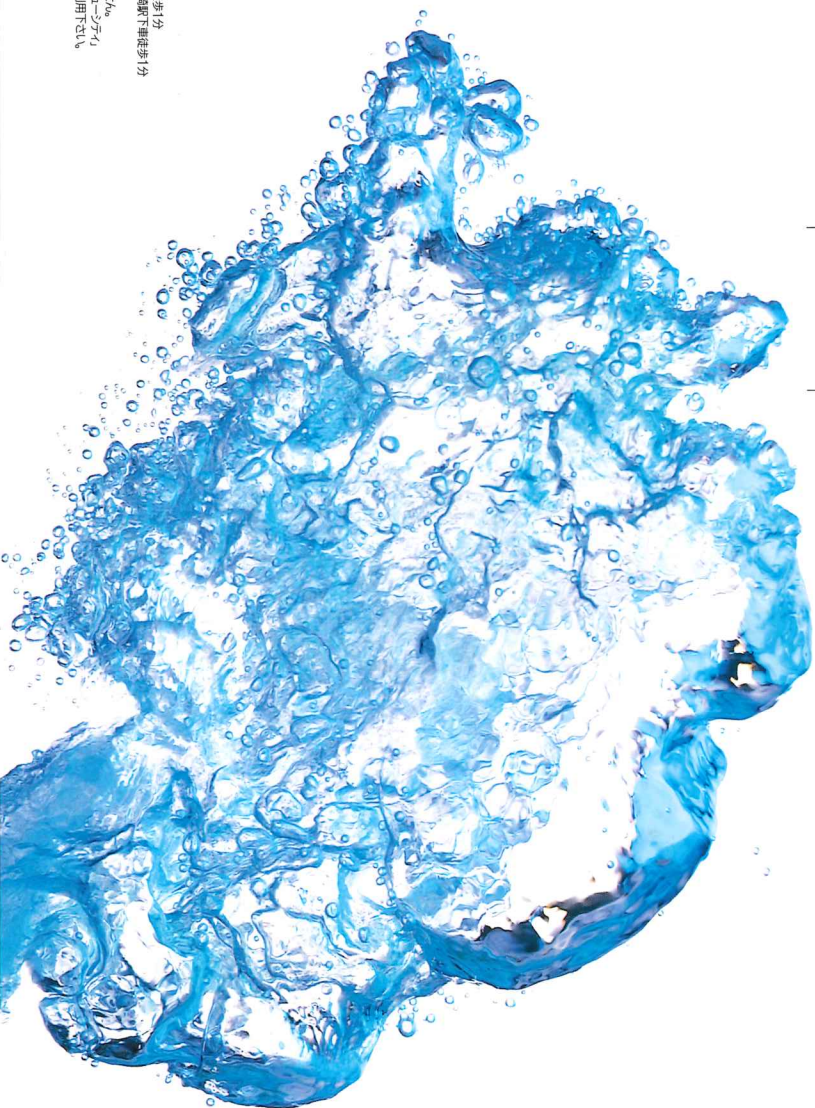
【入場料】 一般500(400)円/高・大生300(200)円/小・中生100(50)円

* ()内は20名以上の団体料金

●出品作家——
榎本 潮
城戸孝充
小島久弥
笹岡 敬
八柳尚樹

●ビデオ——
ビル・ヴァオラ「The Passing」
(毎日、午前11時、午後1時、3時、5時上映)
クリス・ソムラー「&ロラン・ミニョー「A-VOLVE」
伊奈新祐「FLOW」シリーズ

●シンボリック：7月1日[土] 午後2時——4時 (大崎ニューシネマ内・日精ホール)
【ビデオ】 建畠 哲(美術評論家・多摩美術大学助教授)十出品作家
●クーケンショウア(各日とも午後2時——4時)
：6月18日[日]/水を使ったクーケンショウア(八柳尚樹)
：6月10日[土]、24日[土]/クワクス・水を使ったクーケンショウア(城戸孝充)



制作 品川文化振興事業団

○美術館

東京都品川区大崎1-6-2
大崎ニューシネマ2号館
TEL.3495-4040

【交通】

JR山手線大崎駅(東口)下車徒歩1分

東急大崎駅(西口)下車徒歩1分

東急池田駅下車徒歩1分

東急大崎駅(西口)下車徒歩1分

東急大崎駅(西口)下車徒歩1分

東急大崎駅(西口)下車徒歩1分

東急大崎駅(西口)下車徒歩1分

東急大崎駅(西口)下車徒歩1分

東急大崎駅(西口)下車徒歩1分

東急大崎駅(西口)下車徒歩1分

東急大崎駅(西口)下車徒歩1分

(水)は体内の羊水、「母なる海」というように、ひとつとって最も身近な存在で、(水)を使用した表現は古くから世界的に伝統芸能や作庭等で多く見ることができず。現代の美術においても、(水)、あるいは液体をその表現の中にとり込んだ作品は、近年、そこに新たな意味を見出し、表現としての拡がりを見せています。それは単に新奇な素材というよりも、時代の現実感、気分に結びついた、現代のより切実な存在として浮上してきていると言へべきでしょう。

コンピュータ上の電子空間内で行われたものには、モニター内の底抜けの水槽のごとき場を舞台として、かたちを探索した上での多様な可塑的な姿かたと与えられています。そのような非物質的な感覚世界にとりまかれながら、他方では、(水)は始原的な記憶につながる象徴的な意味をもって立ち現れています。また、具體的に(水)を駆使した作品の中でも、これまでとは異なった(水)というものの現象性をキーにした作品を見ることができず。

(水)は捕捉しようとしても不可能で、外から眺め、あるいはその中に飛び込み体感することさえできるものです。(水)とは定まった形を持つことなく、うつろいゆくものであり、時として固体として結晶し、あるいは気化することもある変容する存在です。この定かならぬたゆたう不可思議な存在の姿は、この時代の物質観・世界観ともつながっているとおもわれます。

ここでは(水)を使った多様なインスタレーション、ビデオ等の作品を中心に、そのような現代の表現に伏在する主題ともいへば、現代のわれわれに親しい(水)を主題として抽出することで、時代のリアリティをかんがえよと訴えるものです。
(写真は過去の作品の参考写真です)



種本 潮 (水の変容) (1992)



八柳尚樹 (気配-III) (1995)

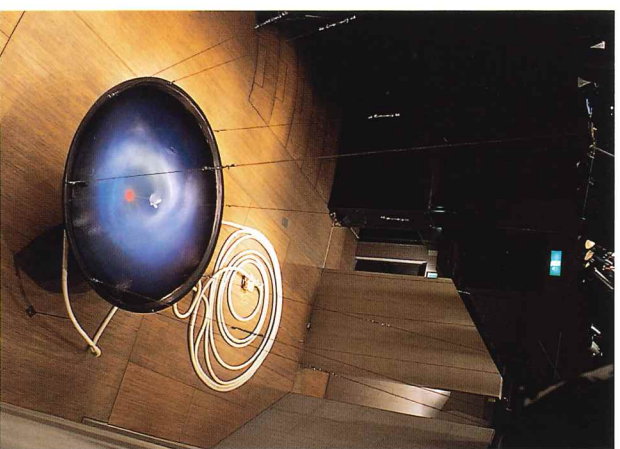
水の变幻とその新しい表現展



笹岡 敬 (OIL ON WATER) (1991)



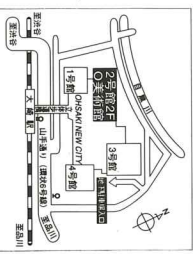
ビル・ヴァイラ (The Passing) (1991)



城戸孝亮 (水・ソ・ワ) (1991-92)



小島久弥 (臨界点) 'CRITICAL POINT/OCYCLE' (1995) 撮影:大高明
© 名古屋国際アートセンター 開催協議会



【交通】
JR山手線大塚駅(東口)下車徒歩1分
東武(有)大井町線大塚駅下車徒歩1分
【駐車場】
美術館専用駐車場はございません。
お車で来館の際は、大塚ニューシティ/地下2階の駐車場(有料)をご利用下さい。

美術川文化振興事業団
美術館
東京都品川区大塚1-6-2
大塚ニューシティ2階
TEL.03-657-4040